

あおもりドローン利活用推進会議 第2期総会

日時：2019年9月18日（金） 17:30～18:00

場所：青森公立大学 大学院棟 1212 教室

■開会

1. 議長の選任
2. 今年度の事業報告 **【資料1】**
3. 会計報告 **【資料2】**
4. 会員の異動について **【資料3】**
5. 次期理事の選任について **【資料4】**
6. 事務局長および事務局体制について

今年度の事業報告

あおもりドローン利活用推進会議
事務局長 木暮 祐一

第二期（2019年10月～2020年9月）の活動実績を以下に報告します。なお、2020年3月以降は新型コロナウイルス感染症拡大によりセミナーやイベント等の実施を自粛せざるを得ない状況となり、実質的に活動が休止状態にあります。

一方でご加入いただいている会員様への特典として2020年5月より青森公立大学のグラウンドでドローンの飛行試験、飛行練習等にご利用いただく場合に費用のご負担なし（施設利用料は推進会議事務局が負担します）で、かつ当日朝までのお申込みでお使いいただけるようにしました。

1) ドローンセミナーの実施

■第4回あおもりドローンセミナー（2019年11月16日）

2019年11月16日に第4回あおもりドローンセミナーを開催しました。ドローン技術の先にある空の移動革命と未来の社会と題して、エアモビリティや水中ドローンの最新動向と将来展望について講師を招聘し開催した。

経済産業省と国土交通省は、2018年に「空の移動革命に向けた官民会議」を開催し、いわゆる「空飛ぶクルマ」の実現に向けたロードマップをとりまとめた。ロードマップでは、事業者による利活用の目標として、2019年から試験飛行や実証実験等を行い、2020年代半ば、とくに2023年を目標に事業をスタートさせ、2030年代から実用化をさらに拡大させていくこととしている。

利活用の例として、「物の移動」「地方での人の移動」「都市での人の移動」を挙げており、他にも「災害対応」「救急」「娯楽」等に活用されることが想定される。

これらの目標を達成するため、機体の安全性や技能証明の基準等の制度整備や、安全性・信頼性を確保し証明する技術や自動飛行・運航管理・電動推進に関する技術の開発について、今後のロードマップを示している。すでに世界では、空飛ぶクルマの研究開発もスタートしている。空飛ぶクルマの安全な運行には、運用を支えていく設備やインフラの研究開発なども求められていく。

このドローンセミナーでは、ドローン業界や空飛ぶクルマに関わる産業分野における先鋭的企業に積極的な投資を行うと共に、そうした企業と共に近未来のビジョンを描いている Drone Fund の代表パートナー・大前創希氏（株式会社クリエイティブホープ 代表取締役

役会長/ビジネス・ブレイクスルー大学教授、あおもりドローン利活用推進会議顧問)をお招きし、エアモビリティをめぐる最新動向と将来についてご講演いただきました。

また、ドローン関連技術の応用は空だけでなく、海中への進出も期待されています。水中の撮影に特化した水中ドローンを用いた海中撮影も手掛けていらっしゃる、青森ドローンリンクアカデミーの井東恭彦氏と、株式会社ジュンテクノサービスの佐々木桃子氏から、水中ドローンの魅力についても語っていただきました。

<開催次第>

日時：2019年11月16日(土)

セミナー 15:00～17:00 (14:30 受付開始)

会場：青森公立大学 大学院棟 1212教室

青森県青森市大字合子沢字山崎153-4

参加費：無料

定員：60名

主催：あおもりドローン利活用推進会議

共催：青森県(商工労働部新産業創造課)

助成：公益財団法人 青森学術文化振興財団

<プログラム>

14:30 開場・受付開始

15:00 開会挨拶

15:10 招聘講演「空飛ぶクルマへ発展していくドローン技術の将来展望」

講師：大前 創希 様

16:00 休憩

16:10 招聘講演「水中ドローンの可能性 ～未知の世界へのアプローチ～」

講師：佐々木 桃子 様・井東 恭彦 様

16:40 質疑等

17:00 閉会

開催結果：参加者数 38名



第4回あおもりドローンセミナー（大前氏）



第4回あおもりドローンセミナー（井東氏、佐々木氏）

■第5回あおもりドローンセミナー（2020年1月）

八戸市で開催予定として、ドローンプログラミングセミナーを企画していましたが延期、のち中止となりました。

■以後のあおもりドローンセミナー

新型コロナウイルス感染症拡大により、以後、セミナー等を開催しておりません。

2) 青森公立大学グランド使用に係る推進会議会員特典

当推進会議会員様がドローン飛行を目的として青森公立大学のグランド等をご利用いただく機会が増えておりましたが、青森公立大学の事務手続規程上、1週間以上前に申請手続きが必要であり、天候等に左右されやすいドローン飛行においては借用しづらい状況にありました。

このため、当推進会議会員に限り事務手続を最大限短縮できるようにしたことと、当推進会議会員様の特典として2020年5月より青森公立大学のグランドでドローンの飛行試験、飛行練習等でご利用いただく場合に費用のご負担なし（施設利用料は推進会議事務局が負担）でお使いいただけるようにしました。

■推進会議会員向け特典での青森公立大学グランド等の利用について

1. 会員特典として推進会議正会員（法人・個人）は青森公立大学キャンパス内の指定場所にて事前申請の上でドローンの飛行試験、飛行練習を行うことができる。
2. ドローンの飛行は天候に左右されることが多いため、その申請は当日10時（事務局休業日の場合は直前の営業日）まで受付可能とする（本来の青森公立大学の事務手続き上は1週間前迄が原則となっています）。なお、会員様からの施設利用申請は推進会議事務局で取りまとめ、推進会議が借用する手続きをいたします。また施設利用に関し、すでに先約がある場合はご利用いただけません。
3. 推進会議正会員（法人・個人）の飛行試験、飛行練習による施設利用の費用は、推進会議事務局が負担する（推進会議会計から計上）。

■特典利用実績

利用件数 計5件

使用料 計19,250円（推進会議負担）

会計報告

第2期（令和元年度） 収支計算書

あおりドローン利活用推進会議

自. 令和元年10月1日 至. 令和2年9月30日

収入の部		
科目	金額	摘要
前期繰越金	149,355	
会費収入	490,000	
利息	3	
当期収入合計	639,358	

支出の部		
科目	金額	摘要
お車代（11/16セミナー演者）	20,000	（株）ジュンテクノサービス 佐々木桃子氏
グラウンド使用料（計5回）	19,250	青森公立大学
振込手数料	440	
通信費（切手）	2,520	
当期支出合計	42,210	
次年度繰越金	597,148	

(残金内訳)

銀行口座残金	596,582円
現金	566円
計	597,148円

会員の異動について

あおもりドローン利活用推進会議
事務局長 木暮 祐一

1) 入会

法人3社

株式会社オプティムアグリ・みちのく
一般社団法人日本ドローン活用推進機構
コクサイ無人航空機株式会社

個人1名

2) 退会

法人2社

アイ・ジェイ・ブレイン株式会社
コクサイ通信特機株式会社

個人2名

以上

あおもりドローン利活用推進会議第3期役員（案）

任期：2020年10月1日～2021年9月30日

役職	氏名	所属
理事・会長	香取 薫	青森公立大学 学長
理事	佐々木 伸悦	三八五オートスクール株式会社 代表取締役
理事	高見 雅之	ITH 合同会社 代表社員
理事	新戸部 洋輔	株式会社ムジコ・クリエイト 代表取締役
理事	三浦 実	有限会社エムシステム 代表取締役
理事・ <u>事務局長</u>	中村 真	コクサイ無人航空機株式会社 代表取締役
理事	珍田 秀樹	東奥日報社
理事	藤村 博明	株式会社青森テレビ 技術局長
理事	千田 和人	株式会社 RAB 企画 取締役社長
理事	小久保 温	八戸工業大学大学院大学院 教授
<u>理事</u>	<u>速水 一仁</u>	<u>株式会社オプティムアグリ・みちのく 代表取締役</u>
<u>理事</u>	<u>川村 智</u>	<u>一般社団法人日本ドローン活用推進機構</u>
理事	丹波 澄雄	弘前大学大学院 准教授
顧問	牧野 二郎	弁護士 牧野総合法律事務所弁護士法人
顧問	村山 繁	DroneTribune 編集長

※下線が追加部分

オブザーバ

- ・青森県
- ・青森県警察本部
- ・青森県観光連盟
- ・青森銀行
- ・みちのく銀行
- ・青森公立大学
- ・国土交通省青森河川国道事務所

理事、顧問退任

- ・井東 恭彦、木暮 祐一、千葉 巧太郎、大前 創希、武田 紀久雄